

やまうちじょうもんじょ
106. 山内城文書

■ 指定日

昭和53年11月7日

■ 種別

有形文化財 古文書

■ 年代

室町時代～安土・桃山時代

■ 所在地

朝来市山内

■ 所有者

個人



■ 内容

戦国時代のころにあったと思われる、山内城関係の古文書7通。

文書は全て写本である。1通は「譲渡申諸職之事」とあって「病気のため私領を新右衛門に譲る。この状がその実正である。代々の祖先とかかわらず相抱き勤めよ」という内容で、明応8年(1499)に惣右エ門から新右エ門宛であてられたものである。

3通は竹田城主太田垣氏より、足羽氏が方々に転戦し、戦功を立てたことを賞める感状である。永禄7年(1564)9月10日とある。うち1通は、これより以前の大永6年(1526)卯月17日のもので「因州於上野坂表合戦之時」の戦功に対するものである。他は署名からみて(竹田城主五代太田垣朝延)生野銀山争奪にかかわる、播磨赤松の但馬攻めの争いにかかわるものであろうと思われる。

さらに山内城を中心とする、足羽氏領分1300余石といわれる勢力範囲のわかる1通「足羽分領山堺目之事」があり、これのみ片仮名書きである。

他の2通は「売渡申下地之事」と「弓矢鉄砲免之事」とである。